

# 国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾 ニュース

前号までに登場した「カレー事件」のKくん。彼にも追跡調査を依頼しました。

Q. 中学生当時、「全体学習（みんなで語り合う人権学習）」をどう感じていたか？

Q. 十数年経った今、どう思っているか？

すると、お正月の年賀状にこんなふう書いてきてくれました。

明けましておめでとうございます。先日はアグリ体験に来ていただき、ありがとうございます。お芋を食べていただいたり、ダイコンを収穫していただけたこと、すごくうれしかったです。

「峠スピリッツ」

「しあわせ」の定義って、人それぞれですが、私の場合は、お金持ちになること、お腹いっぱい食べたり贅沢すること、いろいろありますが、やはり自分も含めて、大切な人や自分にかかわる周りの人、あわよくば関わってない全然知らない人までも、みんなが心底笑顔でいられることが、私の場合の一番の「しあわせ」である気がします。

イヤなこともあるけど、イヤなことさえイイことに見えてしまえるような「ラッキー」をねらって、イイことにひっくり返してしまえる感覚。人生を楽しもうとする感覚。いろんな価値観や考え方が入り交じる人間社会だからこそ、楽しいと思えるように生きていきたいと思います。

故郷、〇〇町でたまたま行った学校教育で、私の土台を作っていただきました。〇〇町でしてくれた教育が全部正しかったとは思いません。いろんな場所や地域で本気にさえなれば、いろんなジャブが打てると信じています。部落差別にとらわれず、部落差別について考えられる感覚のような人間関係やコミュニケーションを楽しみながら、誰一人排除しようとせず、スクラム組んでいける感覚や空間を広げられたらと思います。そして、もっとお互いを尊重しあう風潮が広がれば、少なくとも今よりはいじめや差別、ネットでの中傷、犯罪は減るのではないかと思います。道徳心を広げて、もっといい社会や地域・学校にしなければと思います。34歳の、農業をしているおじさんですが、教育の大切さ、すばらしさを実感しています。先生や保護者、生徒みんなで学ぼうとする空間が、今の社会の中でやっぱりもっと広がってほしいかなと思います。

先日はお忙しいなか、時間つくっていただきありがとうございました。自分を見つめ直すいい機会となりました。娘たちとのかかわり方や、あらたな課題も見えました。農業に、生活に、日々精進してまいります。常に自問自答しながら、日々向上心を持って生きていきたいです。

「峠」、故郷の教育で、自分に自信がついたと思っています。一人一人が自分らしく、ベストをつくる社会って、いいなと思います！

彼の言う「峠」とは、私たちが毎年編集してきた授業実践記録、「峠を越えて」を引用したものだ。

T: 峠を over: 越えて

T: たがいに over: 越える

T: とともに over: 越える

Talk over: じっくり話し合う

私たちのコンセプト、「みんなで語り合う人権学習」

本気の人権学習は、——「すべてを変える」

うずしおランチ代表